



～暑中お見舞い申し上げます～

梅雨が明け毎日暑い日が続いています。子ども達は毎日プール遊びや虫探しなど、夏ならではの遊びを満喫しています。

夏はお出かけする機会が増え、体力を消耗しがちです。十分な休息をとって体調を崩さないように気をつけましょう。



- 2日(月)身体測定
運動あそび: 以上児
- 3日(火)避難消火訓練
- 4日(水)誕生会
- 5日(木)エコネット: きく組
- 6日(金)英語であそぼう: 以上児
- 17日(火)花火教室: きく組
- 19日(木)サマーフェスタ
- 20日(金)茶道: きく組
- 23日(月)運動あそび: 以上児
- 24日(火)茶道: ひまわり組
- 25日(水)リズム: 0・1 歳児
- 26日(木)リズム: 2・3・4・5 歳児
- 30日(月)運動あそび: 以上児

8月 園だより

R3.7.30 幸輪保育園

きく組親子 サマー体験

年間行事でもお知らせしていましたが、サマー体験を計画しています。まず初めに、卒園までの流れをお話します。その後、園内で夏の遊びを一緒に楽しんでいただきます。

日にち: 9月4日(土)
集合時間: 9:30
解散予定: 11:30
参加者: きく組園児・きく組保護者1名

※詳しい内容は後日お手紙にてお知らせします。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては中止する事があります。



夏のお祭り～サマーフェスタ～

8月19日(木)にサマーフェスタがあります。夏の遊びを存分に楽しもう!! ということで、様々なコーナーを準備しています。今年も地域のお祭りの中止が多いので、保育園でお祭り気分を味わいたと思います。お化け屋敷やおみこし、くじ引き、的あてのゲームなど夏ならではの遊びを満喫したいと思います♡

サマーフェスタに期待を膨らませながら準備を進めていきます。当日きく組さんは、お店屋さんになってお手伝いもしてくれますよ。

どんなサマーフェスタになるのかお楽しみに♡



- ★鍋田先生が産休に入りました。元気な赤ちゃんを産んで戻ってきます♡
- ★中村優美香先生が8月より給食室で勤務します。
- ★落とし物を東玄関のカゴに入れてあります。毎月10日に処分します。心当たりのある方は必ず確認してください。
- ★戸外遊びの時は帽子をかぶっています。たくさん汗をかいて帽子が汚れていますので、週末には必ず持ち帰り洗濯をお願いします。ゴムが伸びているものは危険です。付け替えてください。
- ★各クラスで行っている毎朝のお集まりには必ず参加してほしいので、登園は9時までをお願いします。給食準備のため、**欠席や遅刻の時も必ず9時までに連絡**をお願いします。

絵本の貸し出しについて

幸輪保育園では絵本の読み聞かせを大切にしています。**毎週火曜日に返却**、水曜日に絵本の貸し出しを行っていますので、親子で一緒に絵本をみて、楽しい時間を共有してほしいです。

子ども達は絵本が大好きですが、破れやすいものです。**みんなが楽しく絵本を見るためにも、保護者の方がしっかりと管理**をしていただきますようご協力よろしくお願いたします。また、お盆期間は毎年絵本整理のため貸出をお休みしていましたが、今年度は通常通り貸し出しを行います。



8月 保健だよ!

R3.7.30 幸輪保育園

7月は、溶連菌・突発性発疹・発熱・咳などでのお休みがありました。これから、とびひや水いぼなどの皮膚の病気が多くみられる時期です。ご家庭で子ども達の身体の様子を確認してください。発疹等がある場合は、感染性のものではないか医師の診断を受けてから登園してください。

梅雨明けと同時に暑い日が続いています。子ども達も暑さで疲れている様子が見られます。規則正しい生活と水分補給や適度な休息を心がけ、熱中症に十分気をつけて暑い夏を元気にすごしましょう。

保育園で嘔吐をして洋服や布団が汚れた場合は、感染の拡大を防ぐために、保育園では洗わずにシルバーの袋に入れて、持ち帰ります。

シラミ・水イボ アンケート ご協力ありがとうございました

シラミや水イボは症状がないまま増えることがあります。お家で定期的に確認をしていただき、感染拡大を防いでいきたいと思えます。アンケートも定期的に提出していただきますので、ご理解とご協力よろしくお願ひします。



かゆみのある湿しんは「とびひ」かも

虫刺されや湿しんなどで傷ついた肌を汚れたつめでひっかくと、傷口に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になります。うみをもったような水ぼうがで、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひっかくと大変! 水ぼうが破れて中の液が付いた所に、とびひがどんどん広がってしまうのです。水ぼうを見つけたら、つめでひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

ほかたちのつめも、忘れずに短く切ってね



「熱中症?」そのときに

子どもたちが大好きな夏ですが、熱中症には注意を。子どもに異変があったら、すぐに手当てをして重症化を防ぎましょう。



1 涼しい場所に移動する

風通しのよい日陰や涼しい室内に運んで寝かせ、服のボタンやベルトを外す。



2 体を冷やす

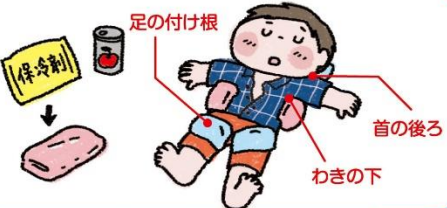
ぬらしたタオルで体をふき、うちわや扇風機の風を当てて体にこもった熱を逃がす。



3 水分を少しずつ与える

麦茶や子ども用のイオン飲料などをひと口ずつ与える。一度に飲ませず、様子を見ながら。

- 冷やしたタオル
 - タオルに包んだ保冷剤
 - 冷えた缶ジュース
- などを挟んで冷やすと効果的



!! 注意 !!

39℃以上の発熱があり、ぐったりして意識がないときは救急車を呼びます

高熱に注意! 夏かぜ

夏かぜを起こすウイルスは、冬のものとは異なり、高温多湿を好むタイプです。せきや鼻水は少なく、肺炎などに進行することはまれです。夏に流行する主な病気に、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病などがあります。

- 高熱が出る
- 目の充血、痛みがある
- のどが赤くはれ、痛みがある
- 体に発しんが出る

これらの特徴があったり、いつもと様子が違うときは、必ず受診し、医師の診断を仰ぎましょう。

